

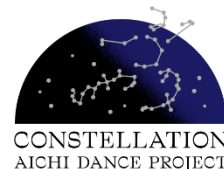


公益財団法人 愛知県文化振興事業団

2026 年 9 月 10 日 (木)
愛 知 県 芸 術 劇 場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
企画制作第二グループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

報 道 各 位



愛知から欧州へ。新進気鋭の振付家が ダンスで現代社会を問う。

ウィズ

リンボ

愛知県芸術劇場プロデュース作品 Null 『WITH LiMBO』



Null 『WITH LiMBO』 初演 (2026 年 5 月) より©HATORI Naoshi

トレンチーン・スロバキア 「Festival TEBA TREBØ!」

2026.9.25(金)10:00 開演

カルチャー・クリエイティブ・センター・フヴィエズダ(トレンチーン・スロバキア)

お
問
合
せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

企画制作第二グループ(武石)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541 ✉ pr@aaf.or.jp

【作品介绍ページ】<https://aichi-constellation.com/null-withlimbo>

欧州文化首都 トレンチーン（スロバキア）で上演 現代社会を生きる人々の心の揺らぎを身体で描く



Null『WITH LiMBO』初演（2026年5月）より©HATORI Naoshi

愛知県芸術劇場が製作し、今年5月に上演したダンス作品『WITH LiMBO』（ウィズ・リンボ）が、9月25日（金）に「欧州文化首都トレンチーン 2026」の開催都市であるトレンチーン（スロバキア）主催で上演されます。

「欧州文化首都」は、毎年開催地を移しながら、欧州各地の都市で行われる、EU を代表する文化事業の一つです。2026 年はトレンチーンとオウル（フィンランド）を舞台に、一年間を通じて演劇、ダンス、地域活動などの多様な文化プログラムが行われています。

このたび「欧州文化首都トレンチーン 2026」と並行して開催されるフェスティバル「Festival TEBA TREBØ!（あなたが必要だ!）」に本作品が招聘されることになりました。若者のウェルビーイングやメンタルヘルスを重視する同フェスティバルのテーマと作品の親和性や、芸術性が高く評価され、上演が実現しました。

本作品は、愛知で結成されたダンスグループ「Null（ヌル）」（愛知県芸術劇場ダンスアーティスト）による作品です。「自己防衛」「孤立」「模倣による安心」「個の消失」といった、現代社会を生きる私たちが無意識に行き来する感情をテーマに、言葉ではなく身体表現によって描き出します。舞台上の3つのキューブは、さまざまな意味へと姿を変えながら、観る人に「自分は今どこに立っているのか」という問いを投げかける装置です。身体と装置が交じり合うことで、繊細かつ力強いダンスへと昇華させ、現代社会における不安や希望を映し出しながら、観客一人ひとりの心に静かな対話を生み出します。

また、上演後には出演者3名と観客のディスカッションを実施する予定です。

メンタルヘルスの意識が世界的に高まるなか、言葉にならない感覚を身体で伝える本作品が、国境を越えて現地の14歳から高校生までの若者たちにメッセージを届けます。

本作に込められたメッセージ

人との距離感に、迷うことがあります。
近づきすぎてしまったり、離れすぎてしまったり。
いつも、「誰か」と「自分」のあいだで揺れています。
この作品は、そんな日常の感覚から生まれました。
守るために距離を取ろうとしても、ふと誰かの動きに引き寄せられてしまう。
そのあいだにとどまる身体を描いています。
舞台上では、他者と同じになってしまう動きや、ずれていく瞬間、
まったく異なる動きが生まれていきます。
そこには、言葉になる前の反応や、他者との関係が静かに現れていきます。
「いま自分はどこにいるのだろう」
劇場にいて、街にいて、日本にいて、世界にいて、
その問いは、
そっと漂い続けるかもしれません。

— Null (岡田玲奈・黒田勇) 2026 年 5 月初演プログラムより

本作のレビュー

立方体の 12 本の辺を枠取ったスケルトン状のオブジェで、一辺はダンサーたちの胸の高さまであり、6 つの面のうち一つだけは板を張った正方形の平面になっている。人が内側に入ることのできる立方体は「セル（細胞）」とか「カプセル」など、個々が棲息する空間を思わせる。存在のベース＝基地＝基盤であり、社会の中の居場所であり、自らを閉ざすシェルターにも、繋がる窓にもなるだろう。

マガジン『シアターアーツ』より

ダンス批評 竹田 真理 (2026 年 愛知 初演より)

やがて三人はフレームを捨てて人間同士の接触へ移行していく。他者との接触は、リスクではなく「信頼の構築」なのだと変換され、そのプロセスがシャープで緊張感あるダンスで徐々に積み重なっていく。終盤では白い円が再び床に広がるのだが、これはより大きな世界へ接続するイメージへと飛躍していった。

Constellation WEB サイトより

作家・舞踊評論家 乗越 たかお (2026 年 愛知 初演より)

プロフィール

振付・出演

岡田 玲奈／Reina Okada (振付家・ダンサー)

石川県能美市出身・至学館大学卒業。幼少期より勝木順子師事のもと、白楊モダンダンス研究会でモダンダンスを始める。大学ダンス部での創作活動を経て、東京での舞踊活動を開始。2019 年より、黒田育世主宰のダンスカンパニー〈BATIK〉所属。また、ミュージカルアンサンブル、MV、CM 等出演に加え、振付助手としてもマルチに活動する。愛知県芸術劇場ダンスアーティスト。



振付

黒田 勇／Yu Kuroda (振付家・ダンサー)

愛知県出身・至学館大学卒業。サッカー一筋の幼少期を経て、高校時代にブレイクダンスに憧れて至学館高校ダンス部に入部。2012 年より石原弘恵のもとで本格的にダンスを学ぶ。19 年よりダンスカンパニー〈Co.山田うん〉に参加。これまでに山田うん、北村明子、森下真、白井晃、G2 などの振付・演出家の作品に出演。独自の動きと身体から生まれる正直かつ素直な反応を融合した踊りを追求している。

※トレンチーン公演に出演はしません。



共同振付・出演

仙石 孝太郎／Kotaro Sengoku (ダンサー)

愛知県出身・至学館大学卒業。幼少期から関山三喜夫に師事し、モダンダンスを始める。2019 年より、関山舞踊団に所属。21 年より東京を拠点に活動を始め、まっさらな身体と思考「無色無地」をテーマとし、独自の身体表現、作品創作を探究している。またダンス作品以外にも、MV やオペラなどの出演、ミュージカル等の振付助手をするなど、活動の場を広げている。



出演

宮 悠介／Yusuke Miya (ダンサー・振付家・アート企画者)

1998 年生まれ。筑波大学大学院修了。圧倒的なリアル（身体）で仕掛けるはったり（夢、祈り、虚構）に人間としての根源的な欲求を見出し踊る。YDC2022 コンペ II 最優秀新人賞、2025 コンペ I アーキタンツ・アーティストサポート賞。SAI2023 ソロ部門 First Prize。第 13 回エルスール財団新人賞。KCA2024 KCA 京都賞&オーディエンス賞。国際的に活躍するダンス作家育成プロジェクト StepM 育成対象者。



※トレンチーン公演のみ出演。

唐津 絵理 / Eri Karatsu (愛知県芸術劇場 常務理事 芸術監督

／DaBY アーティスティックディレクター)

1993 年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは 200 を超える。また、愛知県発信の国内外ツアーを多数開催。最近ではフランス、香港、アメリカ、ドイツ、オランダ等の劇場やフェスティバルから招聘された。2023 年令和 4 年度（第 73 回）芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。



愛知と世界をつなぐダンスプロジェクト 「Constellation（コンステレーション）」



CONSTELLATION
AICHI DANCE PROJECT

「Constellation(コンステレーション)
～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～」
ロゴマーク



文化庁の補助金により日本芸術文化振興会に設置された
クリエイター支援基金のシンボルマーク

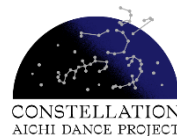
本作は、当劇場が 2024 年より始動した、世界をつなげるダンスプロジェクト「Constellation（コンステレーション）」により創作され、今回が 3 回目の海外公演となります。

Constellation は日本語で“星座”を意味しています。観客・劇場・アーティストがつながることで、愛知県芸術劇場が日本におけるダンス作品のハブ劇場となり、日本と海外をつなげていくことを目指しています。これは、国籍・世代・文化的背景の違いを越えて人々をつなぐダンスの力に着目し、30 年以上にわたりこの魅力を発信してきた当劇場ならではの取り組みです。

本プロジェクトで創作された作品が上演される機会を創出し、当劇場から海外に向けて発信してまいります。

なお、本プロジェクトは、文化庁の補助金により日本芸術文化振興会に設置された「文化芸術活動基盤強化基金」のうち「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業」として採択を受け、実施しています。

公演情報



フェスティバル | Festival TEBA TREBØ!

作品 | 愛知県芸術劇場プロデュース Null『WITH LIMBO』(2026年5月2日 世界初演)

日時 | 2026年9月25日(金)10:00 開演

会場 | カルチャー・クリエイティブ・センター・フヴィエズダ(トレンチーン・スロバキア)

主催 | トレンチーン市(スロバキア)

WEBサイト | <https://www.hviezda.eu>

振付 | 岡田玲奈、黒田勇

共同振付 | 仙石孝太郎

出演 | 岡田玲奈、仙石孝太郎、宮悠介

アーティスティックディレクター/プロデューサー | 唐津絵理(愛知県芸術劇場/Dance Base Yokohama)

照明デザイン | 久松夕香

衣裳デザイン | 武田久美子

テクニカル・コーディネート | 鷹見茜里(愛知県芸術劇場)

ツアー・コーディネート | 二河茉莉香

製作・企画制作 | 愛知県芸術劇場[公益財団法人愛知県文化振興事業団]

助成 | 文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

レジデンス協力 | Dance Base Yokohama[一般財団法人セガサミー文化芸術財団]



「Constellation(コンステレーション)
～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～」とは

愛知県芸術劇場は、国籍や世代、文化的背景の違いを越えて人々をつなげるダンスの力に着目し、30年以上にわたりその魅力を発信してきました。そして今、新たな挑戦として「Constellation(星座)」プロジェクトを立ち上げました。バレエ、コンテンポラリーダンス、ストリートなど多彩なジャンルで活躍するダンサーや振付家が「愛知県芸術劇場ダンスアーティスト」として集い、創造と交流の拠点となるプラットフォームを築いていきます。さらに、アーティストやクリエイティブスタッフのみならず、観客や地域社会もゆるやかにつながることで、創造・交流・発信の循環を生み出し、劇場が国際的なネットワークのハブとなる未来をめざします。星座のように、それぞれが響き合い、互いの輝きを高めてまいります。

作品紹介ページ | <https://aichi-constellation.com/null-withlimbo>